

## 金剛山～建郷山 ～どマイナーピーク縦走～

【報告者】T橋

【日時】2016年12月11日

【天候】晴れ時々曇り

【参加者】T橋

### 《コースタイム》

畑貯水池駐車場 0810－金剛山登山口 0845－金剛山 1000－尺岳 1105－音滝山 1200－双伍山 1240－建郷山 1330－田床峠－畑貯水池駐車場 1430

### 《報告》

秋に歩いた皿倉牛斬縦走の際、尺岳ピークから眼下に顕著な尾根が伸びているのを見た。調べてみると金剛山。名も知らぬ山ながら、九州道で八幡ICの先のトンネルが金剛山トンネルで、知らぬ間に数えきれぬほど通って（潜って）いたことになる。ここを起点に、縦走路からはみ出たマイナーピーク達を拾って歩く今回の計画となった。

まずその金剛山（561.8m）へ。

いくつもの登山口があるようだが、今回は金剛バス停から。入口は鎖のかかったゲートで道標なく初見では分からないのでは？迷って地元の人にお世話になった。沢沿いの石積み道から金剛院を越えると一転、植林帯を一気の直登。赤テープやなぜかルミエールのビニール袋、支尾根に上がってからはあの！「飯塚六四会」の道標が導く。各方面からの尾根路を合わせながら山頂まで、歩きやすいが展望ゼロ。東に少し高いピークがあるがこちらもゼロ。結局このままメイン縦走路までゼロ…。

次に音滝山（416.9m）。

観音越には立派な「音滝山参拝道」と刻まれた石碑が建つ。が、らしい案内はそれだけ。縦走路を北上し、九電作業路の杭が立つ分岐を入り、少し高くなった辺りを目指して適当に登れば山頂。使途不明な建物の残骸が付近にあるだけで、ここ目的に参拝に来る時代があったなんて全く想像できない…。

続いて双伍山（507m）。

メイン縦走路上の北と南に立派な道標あり。今回は南からアプローチ。右下に新しい作業林道を見ながら伐採地帯を越え、鹿除けネットを抜けると北からの道と合流。九電の黒いプラ階段を辿り、再度鹿除けネットを潜ると、新しい鉄塔が立つピーク。マイナーピークでは唯一の展望、平尾台方面が見渡せる。北側の入口目指して下ると、作業道に分断されながらも縦走路までラクに下れる。

最後は建郷山（451.5m）。

同じく北と南に入口の道標あり。南から入ると容赦ない直登でふくらはぎが死ぬ。尾根に出て右にわずかで展望のないピーク、静かな雰囲気は悪くない。ちなみに反対側の入り口はなだらかですぐそこ。さっきの急登はなんだったんだ！

おまけで畑貯水池。

1周5kmでクッションのあるチップが敷き詰められた歩道完備。200m毎の表示もあるし、適度なアップダウンに樹林のトレイルも混じって飽きない。駐車場2ヶ所にはそれぞれトイレあり。ここラントレにおススメ！

---

当初の予定では、公共交通機関のアプローチで帆柱山から河頭山まで繋いで歩き通し、帰りの電車でプシュッといくはずだったので、そこは心残り。金剛山にある大岩壁（？）「風岩」も気になっているし、コースアレンジしてもう一度行くかも？



【尺岳山頂から、うねる金剛山稜線を見る】